



# 福島県内経済情勢報告

令和8年4月

財務省東北財務局  
福島財務事務所

## 目 次 ページ

1. 総 論	1
2. 個人消費	2
3. 生産活動	4
4. 雇用情勢	5
5. 設備投資	6
6. 企業収益	6
7. 企業の景況感	7
8. 住宅建設	8
9. その他項目	9

\*各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

\*掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

## 1. 総論

### 【総括判断】 「緩やかに持ち直しつつある」

項目	前回(8年1月判断)	今回(8年4月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	→

(注)8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、ドラッグストア販売額が前年を上回るなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、化学でデータセンター向けが好調となるなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

### 【各項目の判断】

項目	前回(8年1月判断)	今回(8年4月判断)	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

設備投資	7年度は増加見込み	7年度は増加見込み	→
企業収益	7年度は増益見込み	7年度は増益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅が縮小	「下降」超幅が拡大	→
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↘
公共事業	前年度を上回っている	前年度を下回っている	↘

### 【先行き】

先行きについては、雇用環境の改善や各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

## 2. 個人消費 … 一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している



- (1) 百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が好調となっているものの、衣料品等が低調となっていることから、前年並みとなっている。
- (2) コンビニエンスストア販売額は、デザートが低調となっているものの、米飯等が好調となっていることから、前年並みとなっている。
- (3) ドラッグストア販売額は、医薬品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (4) ホームセンター販売額は、暖房用品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (5) 家電大型専門店販売額は、エアコンが好調となっていることから、前年を上回っている。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、普通車が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (7) 旅行は、国内旅行、海外旅行とも堅調となっている。

### ～ 〈参考〉 個人消費に関する地域の声 ～

○生鮮食品の価格や外食単価が上昇している中、レンジ調理食品や味付け肉などの調理に手間のかからない商品の売上が増加している。

○前年と比べて気温が高かったことから、冬物衣料の動きが鈍かった。

(百貨店・スーパー)

○主食のラインナップの強化やお得なキャンペーンなどの効果により、米飯等が好調となった。

○デザートは、キャンペーンをきっかけとした来店時のついで買いを期待したものの、対象商品のみを購入する目的買いの傾向がみられた。

(コンビニエンスストア)

○例年に比べ花粉の飛散時期が早かったことから、鼻炎薬や目薬が好調となった。

○価格が高くて、個々のニーズに合致した商品や付加価値の高い商品がよく売れている。

(ドラッグストア)

○前年と比べて気温が高く雪が少なかったことから、暖房家電や灯油、除雪用品などの季節商材が伸び悩んだ。

○物価高による節約志向から、メーカー品よりも価格の安いプライベートブランド商品へのシフトがみられる。

(ホームセンター)

○2027年4月からの省エネ基準引上げを前に、低価格帯のエアコンが好調となった。

○価格を意識して購入する消費者が多く、新生活関連商品についても、セット販売より単品で必要最低限の商品のみ購入する様子が見られる。

(家電)

○軽自動車の安全性能の向上により、さらに軽自動車を選ぶ人が増えている。

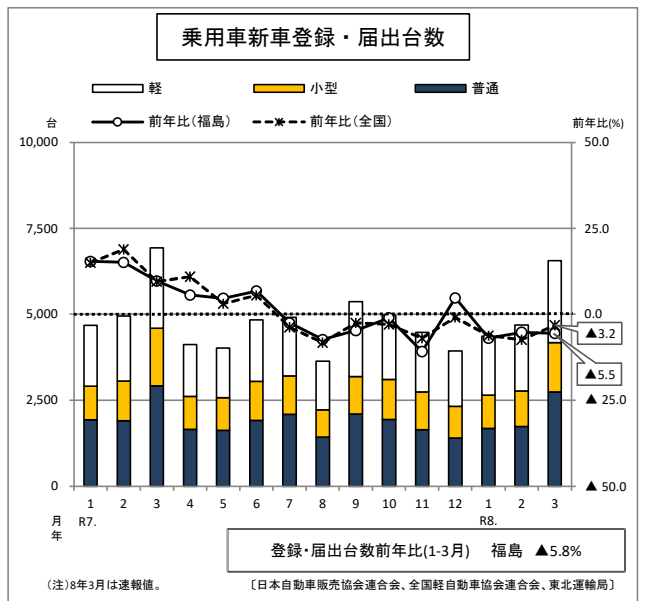
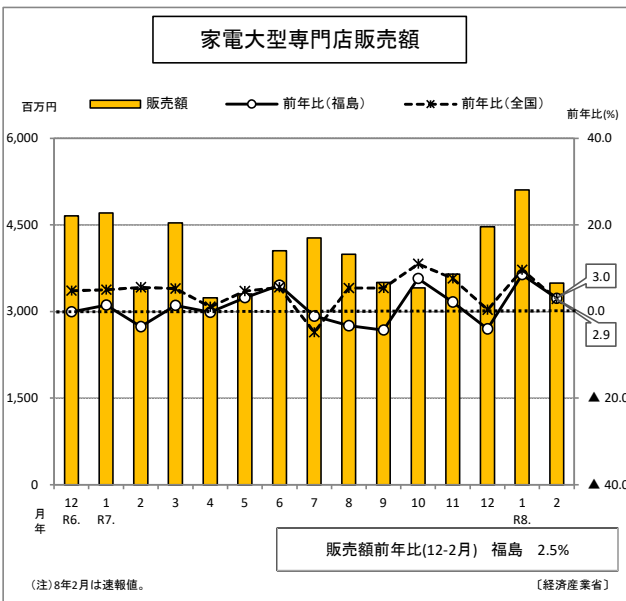
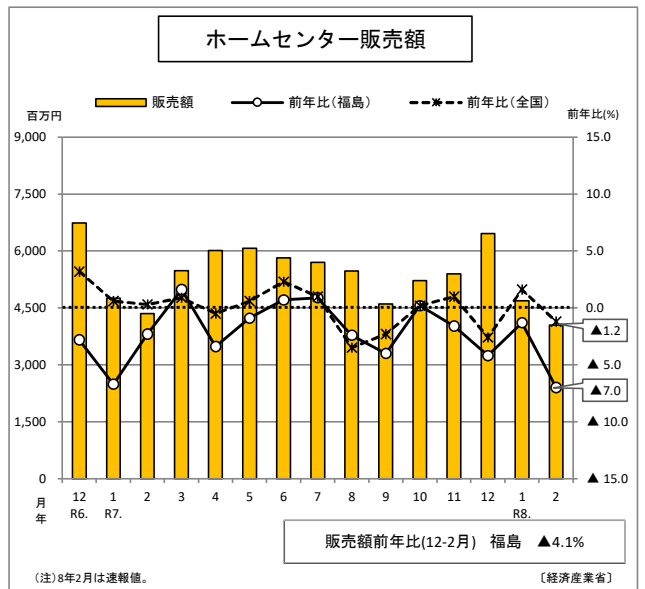
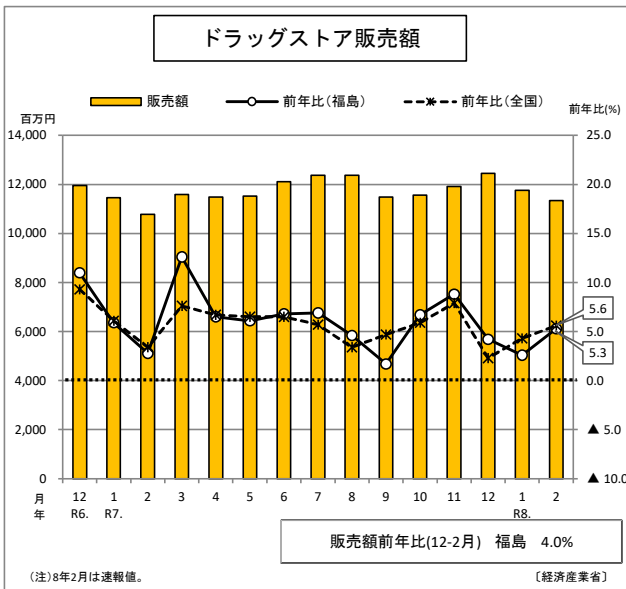
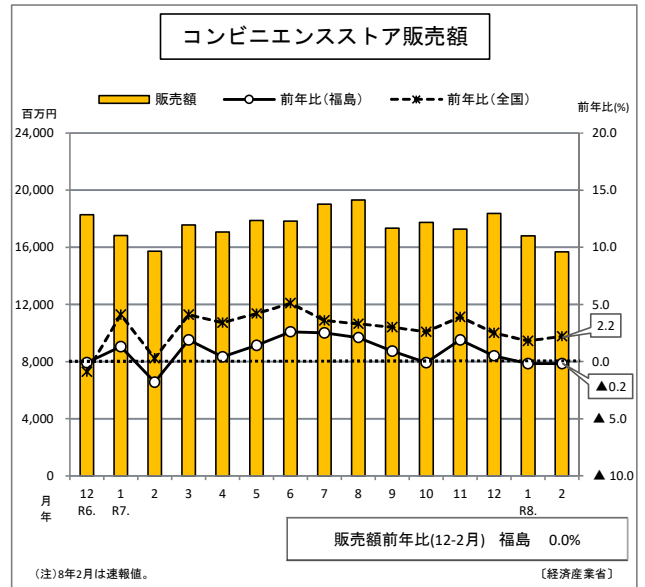
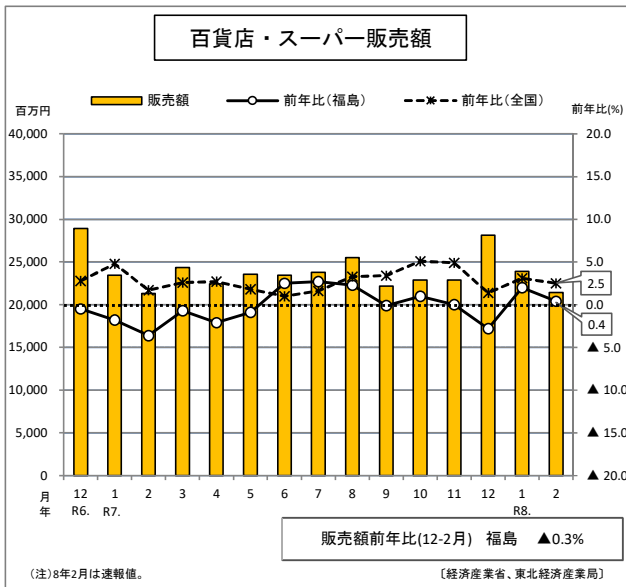
○新車の納期が長期化していることから、すぐに入手できる中古車の需要が高まっている。

(自動車販売)

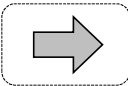
○社内の交流の機会を増やすことを目的とした研修旅行や、インセンティブとして海外旅行を企画する企業が増えている。

○旅行プランを検討する際に、ある程度価格が高くて許容する顧客と、内容や時期を調整してできるだけリーズナブルにしたいという顧客の二極化がみられる。

(旅行)



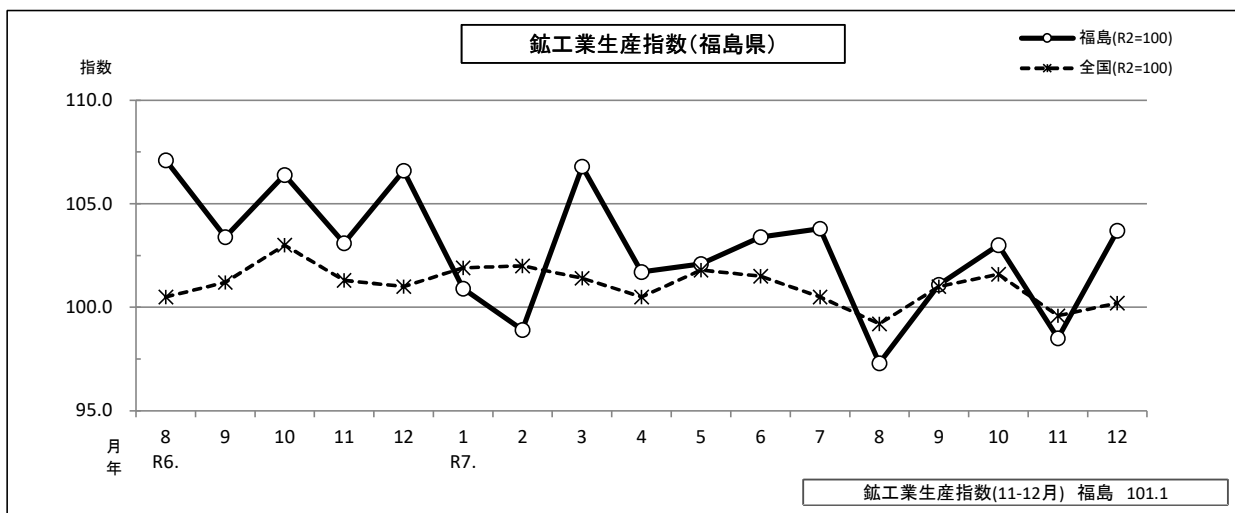
### 3. 生産活動 … 緩やかに持ち直しつつある



- (1) 化学は、データセンター向けが好調となっていることから、増加している。
- (2) 汎用・生産用・業務用機械は、海外の動向等による影響がみられることから、足踏みの状況にある。
- (3) 電子部品・デバイスは、在庫調整等による影響がみられることから、回復に向けた動きに一服感がみられる。
- (4) 輸送機械は、底堅く需要が継続していることから、緩やかに回復している。

#### ～ 〈参考〉 生産活動に関する地域の声 ～

- データセンター向けの需要が拡大しており、受注が好調となっている。
- 石油由来の製品を幅広く生産していることから、今後の中東情勢の動向によっては、広範な影響を受ける可能性がある。  
(化学)
- 新製品の投入に先立って、取引先で在庫調整の動きが出てきており、生産量が落ち始めている。
- 海外においてEV(電気自動車)の推進を見直す動きがあり、エンジン車向けの受注で好影響を受けている。
- 原料となる鉱物の一部で、供給不足による価格高騰が続いており、今後の調達面での懸念が生じている。  
(汎用・生産用・業務用機械)
- 取引先において在庫調整を実施しており、今期は受注が抑えられている。
- 空調関係は、中国向けでは不動産市場の停滞による影響が続き、国内向けでは住宅着工の減少傾向により、需要が弱くなっている。  
(電子部品・デバイス)
- 米国関税措置による影響が一時的にみられたものの、その後は計画通りに生産量が推移している。
- 中東情勢の緊迫化に伴うサプライチェーンへの影響により、今後の生産状況に支障をきたさないか懸念している。  
(輸送機械)

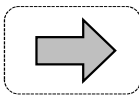


#### 鉱工業生産指数(福島県、季節調整済、R2=100)

区分	総合 (Wt=10,000)		化学	汎用・生産用・ 業務用機械	電子部品 ・デバイス	輸送機械
	指数	前年比%				
7年	101.9	▲ 4.0	1,214.3	1,152.5	1,117.1	1,032.7
7. 1-3	102.2	-	126.9	89.7	104.0	178.9
4-6	102.4	-	124.4	96.7	99.0	177.0
7-9	100.7	-	123.7	89.4	105.8	185.4
10-12	101.7	-	127.0	86.2	105.9	170.1
7. 8	97.3	▲ 10.7	132.8	86.1	104.8	182.6
9	101.1	▲ 0.6	133.8	82.6	103.2	169.6
10	103.0	▲ 3.2	118.7	87.0	107.7	175.6
11	98.5	▲ 6.7	135.9	85.5	107.9	179.0
12	103.7	▲ 1.1	125.7	90.3	103.3	181.2
7. 8-10	100.5	-	136.7	82.6	103.1	187.5
7. 11-12	101.1	-	129.5	85.0	106.3	174.7
			131.2	86.5	103.2	184.4

- (注) 1. 前年比は原指数。  
 2. 最終月は速報値。  
 3. 全国の7年分は年間補正後。  
 4. 7. 8-10、7. 11-12は今回の分析上参考とした期間。  
 [経済産業省、福島県]

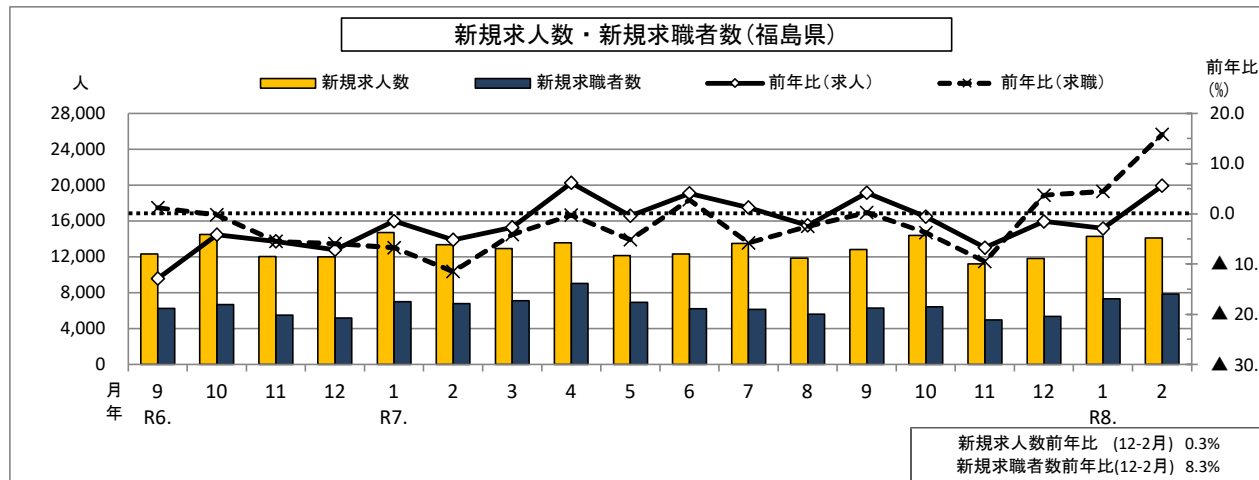
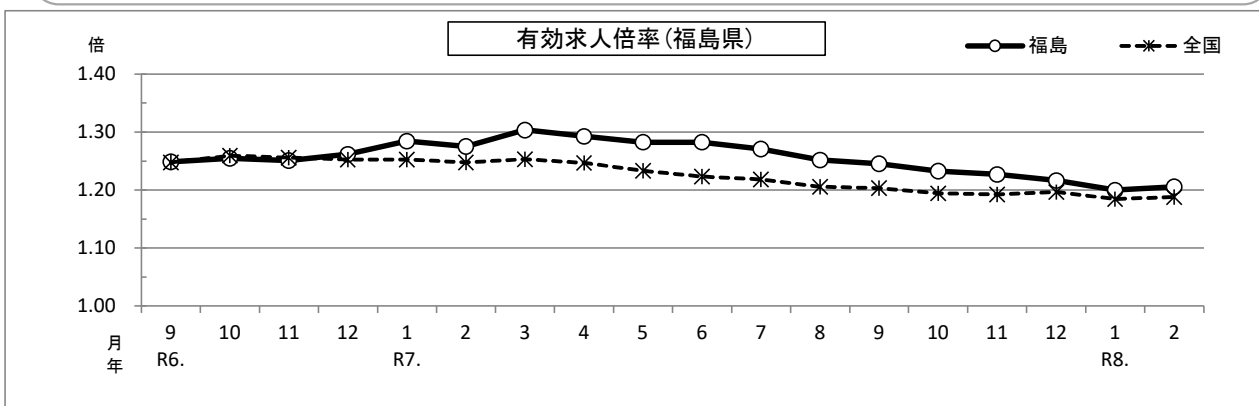
#### 4. 雇用情勢 … 緩やかに持ち直している



- (1) 有効求人倍率は、低下している。
- (2) 新規求人数は、製造業等で増加していることから、前年を上回っている。
- (3) 新規求職者数は、前年を上回っている。
- (4) 事業主都合離職者数は、前年を上回っている。
- (5) 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

～ <参考> ～

- 物価高を背景に、より高収入が見込める会社や副業可能な会社への転職活動、年金不安による求職活動などの動きが引き続きみられている。 (公的機関)
- 人手不足の状況で、外国人材を活用したいが、住居や通勤手段の確保といった生活基盤の整備が課題となっている。 (製造業)
- 人員確保のため、自社ホームページに採用の特設ページを新設し、就職に際しての疑問点解消に努めているほか、SNSを活用し、業界情報含めて身近に感じてもらうように情報発信を強化している。 (非製造業)

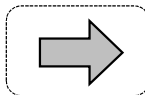


雇用状況(福島県)

区分	有効求人倍率 (季節調整済)	新規求人数		新規求職者数		事業主都合 離職者数		雇用保険 受給者実人員	
	倍	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%
7年	1.26	12,888	▲ 0.5	6,493	▲ 3.7	4,891	▲ 19.7	6,366	1.7
7. 1-3	1.29	13,670	▲ 3.1	6,967	▲ 7.5	1,107	▲ 20.4	5,487	▲ 2.5
4-6	1.29	12,680	3.3	7,408	▲ 1.1	1,858	▲ 12.9	5,913	▲ 5.6
7-9	1.26	12,720	1.1	6,008	▲ 2.7	1,073	▲ 21.0	7,407	6.4
10-12	1.23	12,481	▲ 2.8	5,589	▲ 3.4	853	▲ 29.2	6,659	7.8
7. 9	1.25	12,827	4.2	6,281	0.3	283	▲ 32.6	7,513	11.7
10	1.23	14,399	▲ 0.6	6,433	▲ 3.7	345	▲ 34.5	7,189	8.8
11	1.23	11,214	▲ 6.8	4,971	▲ 9.5	207	▲ 45.2	6,373	6.4
12	1.22	11,830	▲ 1.5	5,362	3.7	301	0.3	6,414	8.0
8. 1	1.20	14,294	▲ 2.9	7,307	4.4	562	60.6	5,947	2.2
2	1.21	14,095	5.6	7,851	15.8	375	8.1	5,706	4.9
7. 12-8. 2	-	13,406	0.3	6,840	8.3	1,238	24.2	6,022	5.1

- (注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。 [厚生労働省、福島労働局]  
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。  
 3. 7年12月以前の有効求人倍率は改定値。  
 4. 7. 12-8. 2は今回の分析上参考とした期間。

## 5. 設備投資 … 7年度は増加見込み



法人企業景気予測調査(8年1-3月期調査)でみると、7年度は、非製造業で減少見込みとなっているものの、製造業で増加見込みとなっていることから、全産業では増加見込みとなっている。

8年度計画は、製造業で減少見通しとなっているものの、非製造業で増加見通しとなっていることから、全産業では増加見通しとなっている。

### 設備投資

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	7 年 度	( 83.9 )	85.8	( ▲ 12.3 )	▲ 21.5	( 20.1 )
8 年 度		▲ 39.5		24.7		1.1

(注)1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

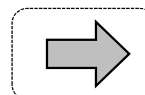
2. ( )書きは前回調査結果。

3. 集計企業数は、7年度 106社(うち製造業34社、非製造業72社)

8年度 94社(うち製造業29社、非製造業65社)

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(8年1-3月期調査)」]

## 6. 企業収益 … 7年度は増益見込み



法人企業景気予測調査(8年1-3月期調査)でみると、7年度は、製造業、非製造業とも増益見込みとなっている。

8年度は、非製造業で増益見通しとなっているものの、製造業で減益見通しとなっていることから、全産業では減益見通しとなっている。

### 経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	7 年 度	( 4.3 )	5.4	( 5.0 )	3.3	( 4.6 )
8 年 度		▲ 44.1		2.4		▲ 9.0

(注)1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。

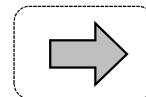
2. ( )書きは前回調査結果。

3. 集計企業数は、7年度 90社(うち製造業35社、非製造業55社)

8年度 76社(うち製造業30社、非製造業46社)

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(8年1-3月期調査)」]

7. 企業の景況感 … 現状は「下降」超幅が拡大  
先行きは「下降」超で推移する見通し



法人企業景況予測調査(8年1-3月期調査)の企業の景況判断BSIで見ると、現状(1~3月)は、全産業では「下降」超幅が拡大している。  
先行きは、全産業では「下降」超で推移する見通しとなっている。

**企業の景況判断BSI【原数値】**

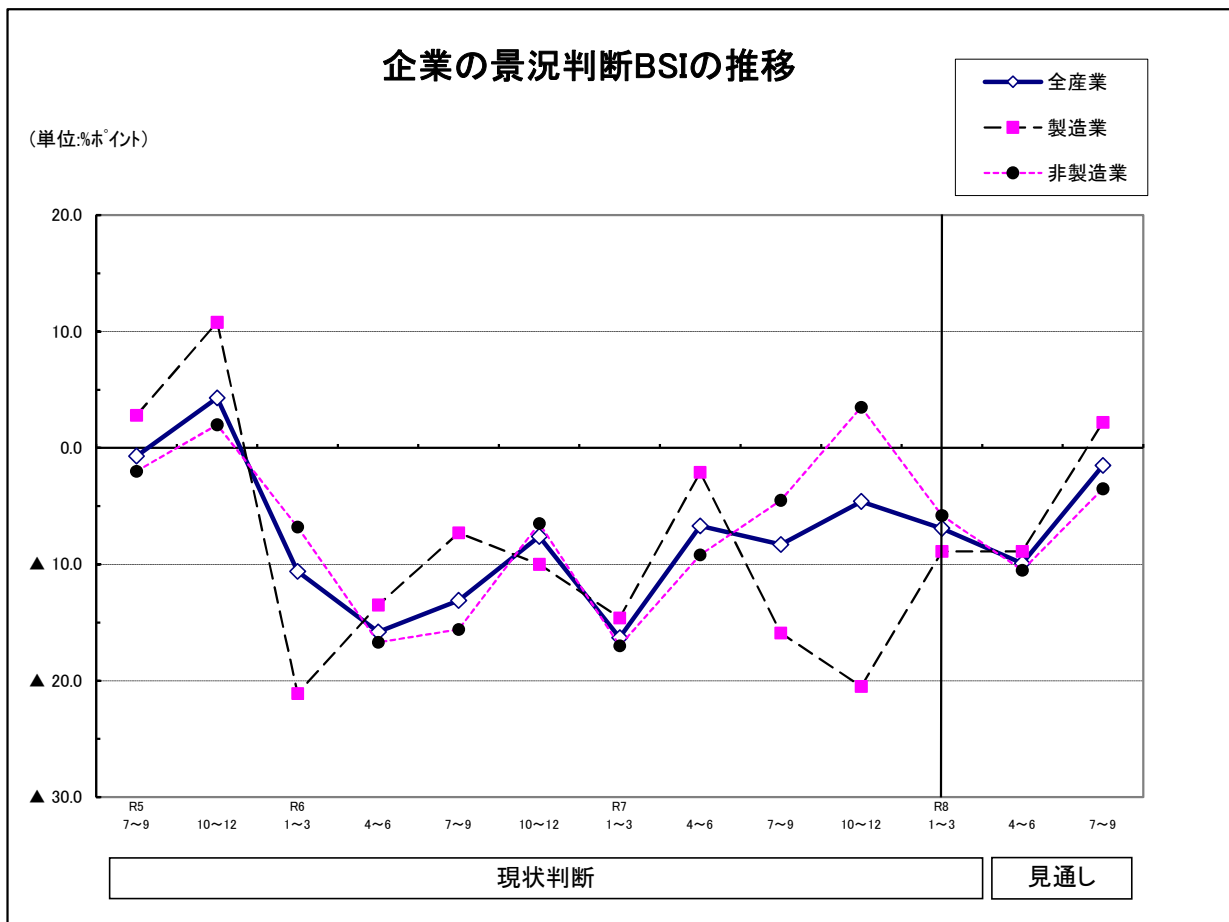
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区分	7年10~12月 (7年10-12月期調査)	8年1~3月 現 状 判 断		8年4~6月 見 通 し		8年7~9月 見 通 し
	全 産 業	( ▲ 4.6 )	( 0.0 )	▲ 6.9	( ▲ 1.5 )	▲ 9.9
製 造 業	( ▲ 20.5 )	( ▲ 2.3 )	▲ 8.9	( 0.0 )	▲ 8.9	2.2
非 製 造 業	( 3.5 )	( 1.2 )	▲ 5.8	( ▲ 2.3 )	▲ 10.5	▲ 3.5

(注) ( )書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景況予測調査(8年1-3月期調査)」]



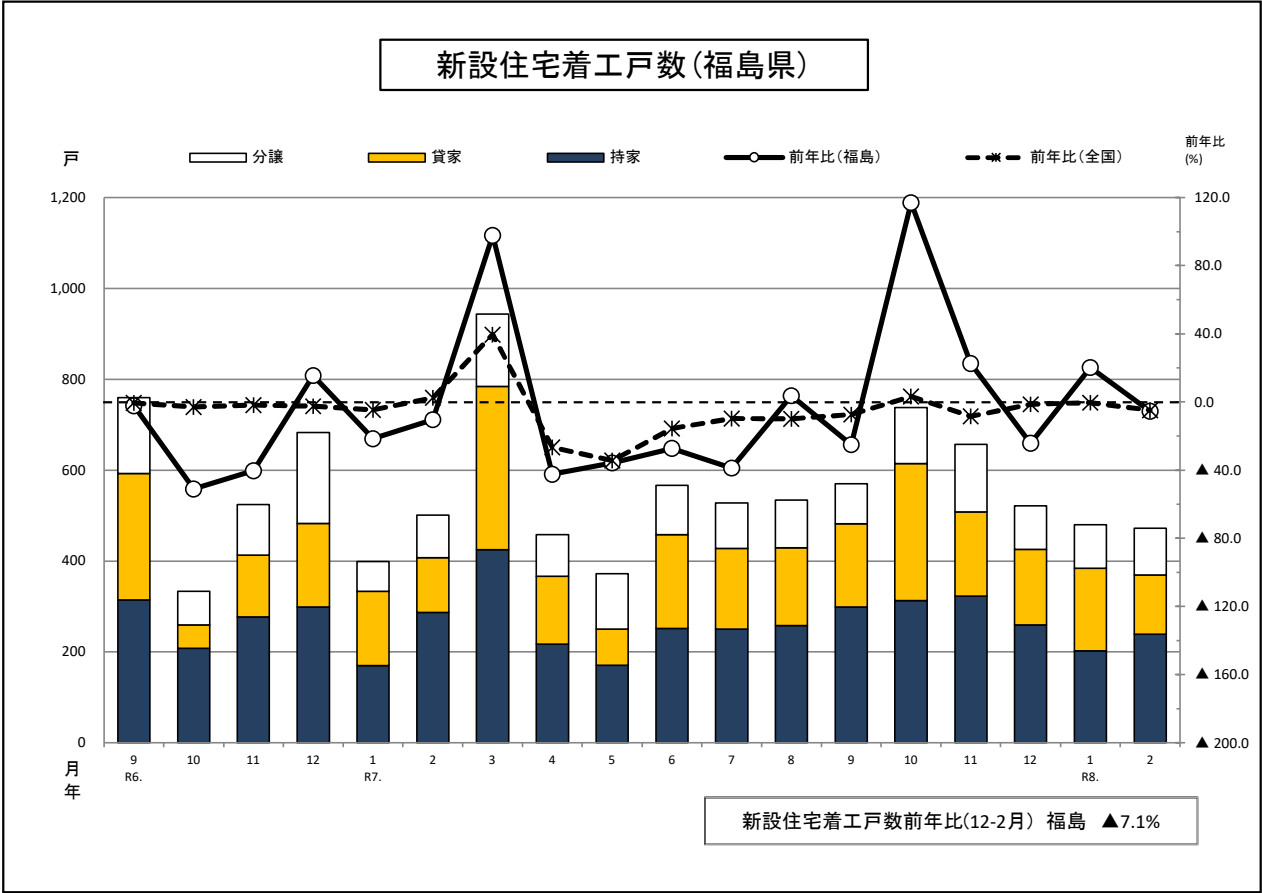
BSI(Business Survey Index)の計算法

\*BSI=(「上昇」と回答した企業の構成比)-(「下降」と回答した企業の構成比)

## 8. 住宅建設 … 前年を下回っている



新設住宅着工戸数で見ると、貸家が前年を上回っているものの、持家、分譲が前年を下回っていることから、全体としては、前年を下回っている。



新設住宅着工戸数(福島県)

区 分	総戸数		持家	貸家	分譲
	戸	前年比%	前年比%		
7 年	6,880	▲ 8.5	▲ 9.8	▲ 7.2	▲ 10.0
7. 1-3	1,846	▲ 19.3	▲ 13.7	▲ 41.7	▲ 2.9
4-6	1,451	▲ 35.1	▲ 39.3	▲ 44.7	▲ 14.4
7-9	1,665	▲ 23.2	▲ 16.0	▲ 35.7	▲ 22.1
10-12	1,918	22.6	14.2	76.0	▲ 4.4
7. 9	570	▲ 25.1	▲ 4.8	▲ 34.4	▲ 47.3
10	740	117.0	50.5	490.2	67.6
11	657	22.6	16.6	36.0	34.2
12	521	▲ 24.3	▲ 13.4	▲ 9.2	▲ 52.5
8. 1	481	20.3	18.8	11.7	45.5
2	474	▲ 5.4	▲ 16.7	8.3	9.6
7.12-8.2	1,476	▲ 7.1	▲ 7.4	2.6	▲ 18.3

(注) 7.12-8.2は今回の分析上参考とした期間。

[国土交通省]

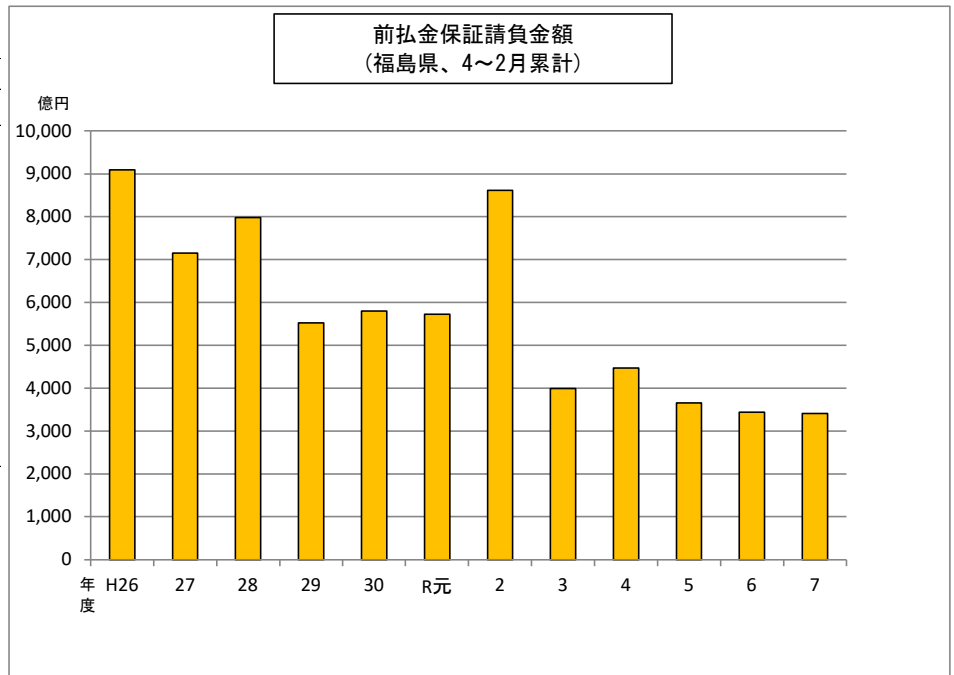
## 9. その他項目

### (1) 公共事業

公共工事前払金保証請負金額(累計)で見ると、前年度を下回っている

前払金保証請負金額 (福島県、4~2月累計)		前払金保証請負金額	
区 分		億 円	前年同期比%
26	年度	9,096	17.0
27	年度	7,145	▲ 21.5
28	年度	7,975	11.6
29	年度	5,524	▲ 30.7
30	年度	5,797	4.9
元	年度	5,722	▲ 1.3
2	年度	8,618	50.6
3	年度	3,991	▲ 53.7
4	年度	4,471	12.0
5	年度	3,657	▲ 18.2
6	年度	3,436	▲ 6.1
7	年度	3,407	▲ 0.9

(注) 国、独立行政法人等、県、  
市町村等の合計。  
〔東日本建設業保証(株)ほか〕

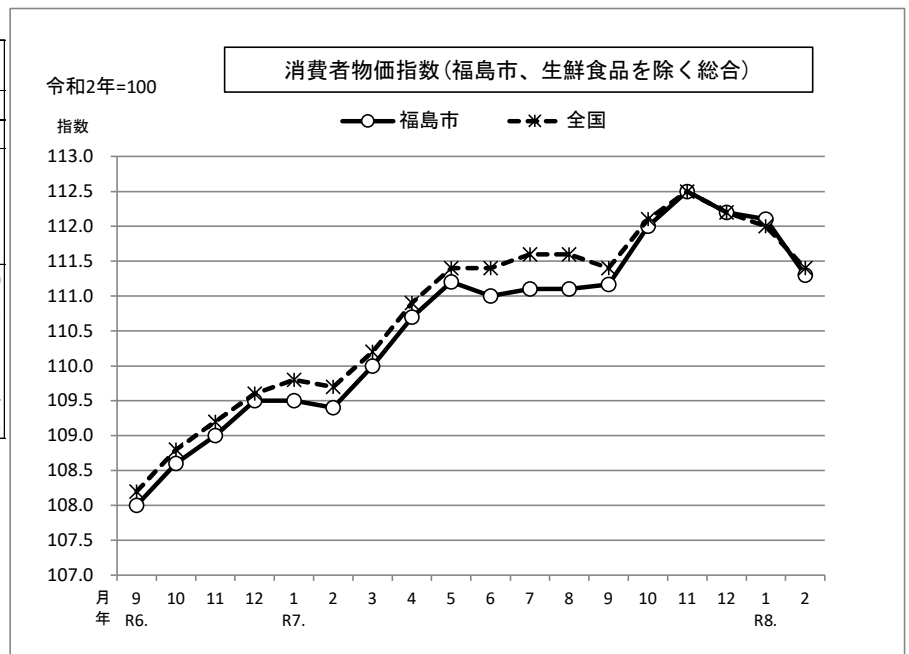


### (2) 消費者物価指数

消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている

消費者物価 (令和2年=100)			
区 分		福 島 市	
		生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	指 数
7	年	111.0	2.9
7.	1-3	109.6	2.9
	4-6	111.0	3.3
	7-9	111.1	2.7
	10-12	112.2	2.9
7.	9	111.2	3.0
	10	112.0	3.2
	11	112.5	3.3
	12	112.2	2.5
8.	1	112.1	2.4
	2	111.3	1.8

〔総務省〕



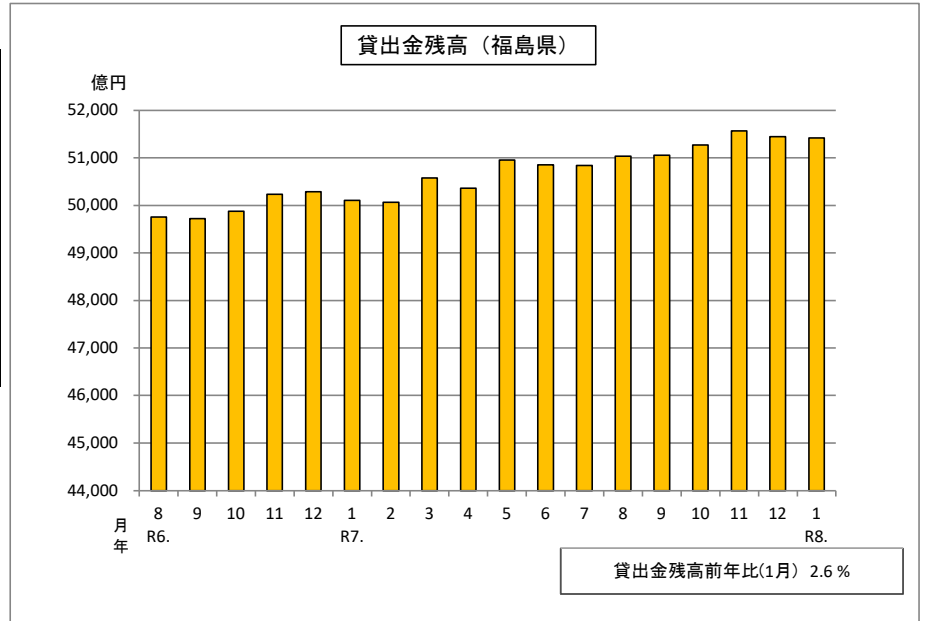
### (3) 金融状況

県内民間金融機関の貸出金残高でみると、前年を上回っている

貸出金残高(福島県)

区 分		貸 出 金 月末残高(億円)
7.	6	50,853
	7	50,836
	8	51,032
	9	51,056
	10	51,274
	11	51,571
8.	12	51,449
	1	51,418

(注)13銀行(県内店舗分)、8信金(全店分)ベース  
 なお、銀行については、オフショア勘定及び  
 中央政府向け貸出を除く。  
 【日本銀行福島支店】



### (4) 企業倒産

件数は前年を下回っており、負債総額は前年を上回っている

区 分	件 数		負 債 総 額	
	件	前年比%	百万円	前年比%
7 年	105	▲ 13.9	17,446	2.3
7.	4-6	▲ 14.3	4,529	▲ 10.8
	7-9	▲ 25.7	6,982	74.9
	10-12	▲ 10.3	3,379	3.6
8.	1-3	▲ 24.1	34,588	1,253.2
7.	10	▲ 33.3	741	▲ 50.5
	11	▲ 41.7	385	▲ 74.4
	12	120.0	2,253	769.9
8.	1	▲ 30.0	663	▲ 17.6
	2	▲ 22.2	33,419	6,100.2
	3	▲ 20.0	506	▲ 58.3

〔株〕東京商工リサーチ

